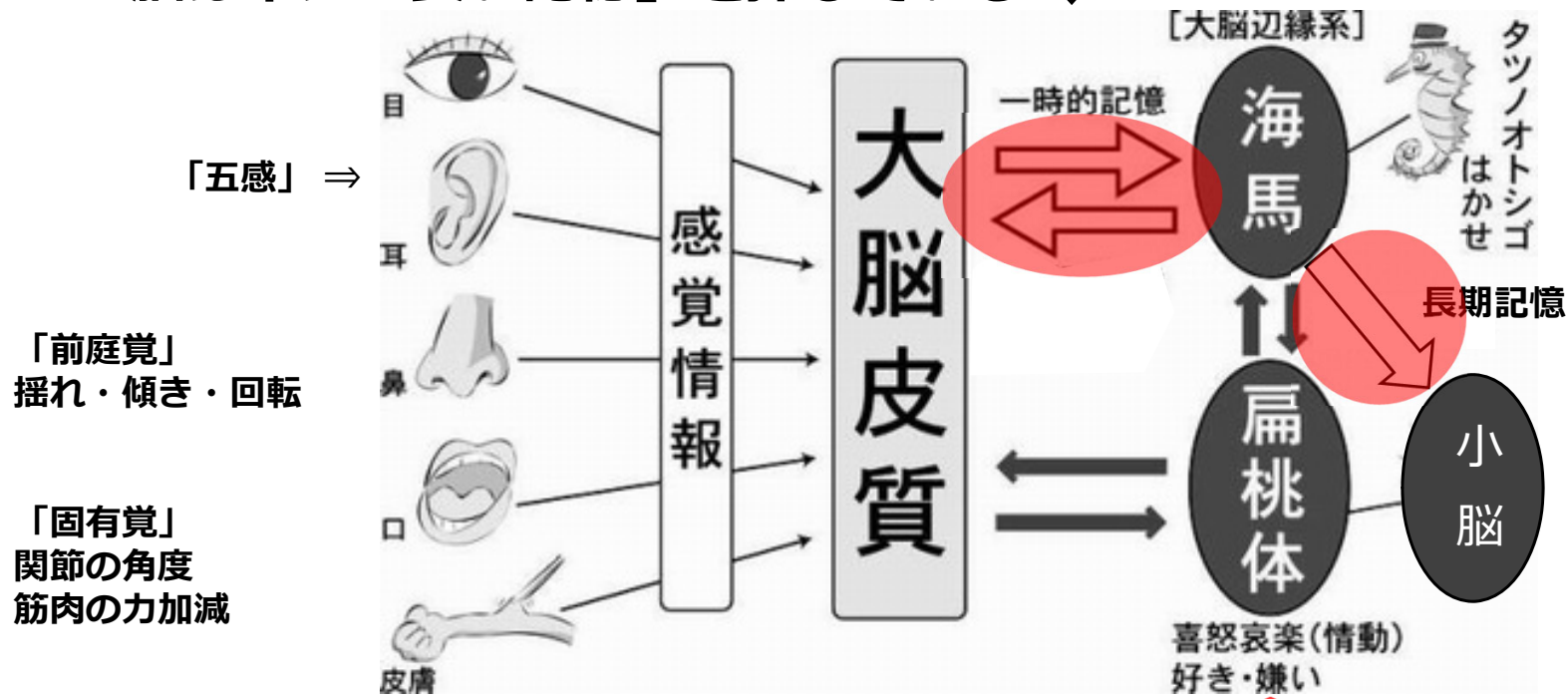


# 脳は常に「良い記憶」を探している ↓

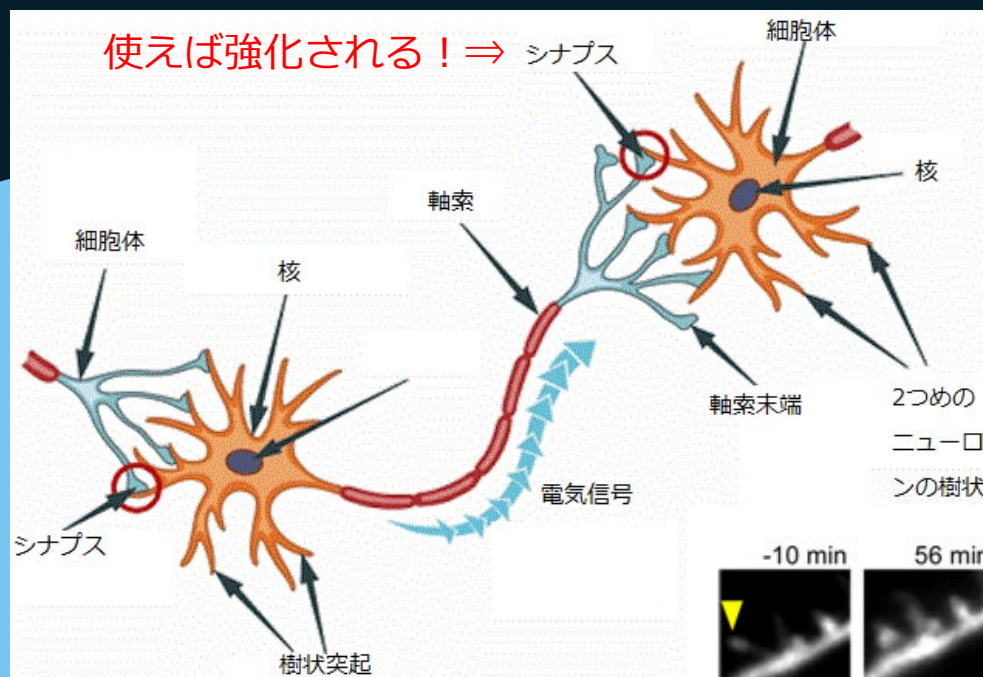


これだ！という組み合わせの  
感覚をまとめて記憶しておく

「感覚統合」が上手くいくと報酬（快感物質）が分泌 = **嬉しい！**

脳細胞は減少する??? → 育ちとは「シナプスの可塑性」を促し、

長期記憶を蓄える作業



物理的に大きくなり、  
反応も増強される

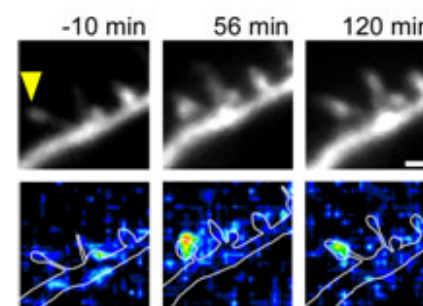


図. 単一シナプス可塑性の光学的誘発。  
2光子励起法によるグルタミン酸投与を  
単一スパイン (黄色矢) に1分間繰り返すと、  
構造の肥大化 (上図) とグルタミン酸  
受容体の反応性 (下図、擬似カラー) の増  
強が起こり、それが2時間にわたって持続  
する (Matsuzaki et al., Nature, 2004より)。

# 『育ちの仕組み』なぜ「やりたい」のか？

## 育ちのキーワード1【長期記憶】

数秒～数日で忘れて良いもの



短期記憶

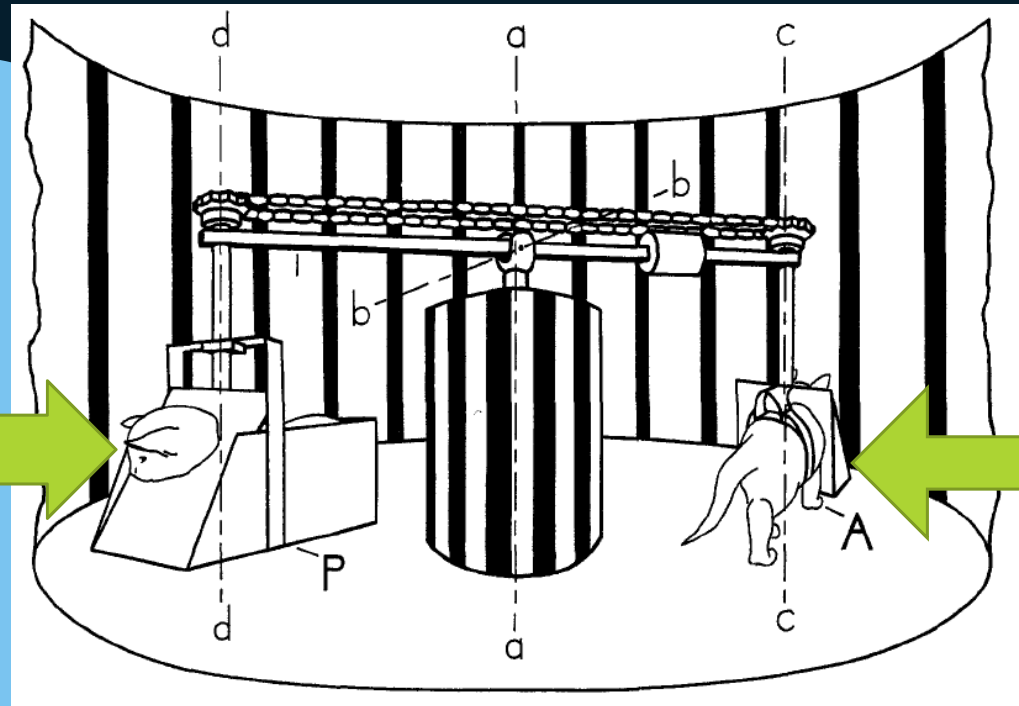
「コツ」を掴んだら忘れないもの



長期記憶

『育ちの仕組み』なぜ「やりたい」のか？  
育ちのキーワード2【能動】

Held & Hein (1963) 「受動ネコ」の実験より



受動：  
台車に乗せられ  
反対側のネコに  
連動して動く

能動：  
制限はあるが、  
自分の意思で探  
索できる

## 能動と受動 . . . Held & Hein (1963) の実験より

受動ネコは、成長後に  
「視覚と運動の協応」に発達障害が見られた。

- ・ 歩行中に物にぶつかる
  - ・ 前足のリーチが届かない
- など

正常な協応の発達には能動的活動がふさわしい